



茶内小だより

○思いやりのある子 ○自ら鍛える子 ○進んで学ぶ子

茶内地区サポーター募集

皆さんの、ちょっと得意・ちょっと自信のある技術で子ども達や先生方、学校の力になってくれないか。登録希望の方は、65-2252 教頭までご連絡ください。

2月の行事予定

日	曜	学校行事・PTA行事など
1	木	茶内中学校体験入学
2	金	児童委員会
3	土	
4	日	
5	月	スケート学習
6	火	
7	水	朝の読み聞かせ 縦割り班清掃
8	木	みんなの広場
9	金	4時間授業
10	土	
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	冬の体カテスト～22日
14	水	朝の読み聞かせ 新一年生体験入学・保護者説明会
15	木	乗り入れ授業
16	金	算数検定
17	土	
18	日	
19	月	参観日(1年)
20	火	参観日(2年)
21	水	朝の読み聞かせ
22	木	参観日(3年)
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	参観日(4年)
27	火	参観日(5年)
28	水	朝の読み聞かせ
29	木	参観日(6年)

子ども達の自己肯定感を高めて

校長 佐久間 勝教

令和6年が始まりました。年明け早々、能登半島地震や航空機事故などが起こり、暗い年明けとなってしまいましたが、私自身、これらのことから危機管理に対する意識を高め、子ども達の安心安全のためにできることに、日々取り組んでいこうと考えております。

さて、前号の学校だよりの中で、自己肯定感というお話をさせていただきました。学校の中をこの自己肯定感というキーワードで探してみると、さまざまなことを発見することができました。夏に続き、冬休み中、職員によるレポート発表会、学級経営交流会、事例研修会が行われ、それぞれの個人課題や学級の様子について交流しました。その中で多くの自己肯定感に関する取り組みがありました。

レポート発表では、全15テーマについて話されました。紙面の関係上3例の抜粋を紹介したいと思います。実践① 自分で考えて課題に向かうことを苦手としている子ども達が多く、「協働させられている感」を感じていたので「自由進度学習」に取り組んだ。その成果として、子ども達だけの力で、課題を解決し、試行錯誤する姿が見られ、自然と友達と協力しながら学ぶ姿が見られるようになった。実践② 算数で「先生タイム」を行なった。個人差があるものの、授業中に分かった素振りをする子が多かったため、授業の最後に先生タイムを導入。その時間の内容が得意な人と苦手な人がペアになって教えあうことで、わからないところは聞き合える雰囲気生まれ、苦手勢も「なぜ？」と聞くことができていた。実践③ だれにでも得手不得手があり、集団生活上、児童の特性による困難な部分が目立ってしまう事も多いが、学習環境を整備することで得意な面を上手に活かして活躍できたり、自己肯定感を高めたりすることが出来た。

教員個々が子ども達と向き合い、子ども達一人ひとりの自尊感情や自信を高める実践を重ねることで、自己肯定感が高まる取り組みとなっています。

学級経営交流会では、学級の変容として、○授業や行事において、自信がなくてもやってみようとする児童が増えた。○思い通りにならなくても、次回に繋げていこうとする気持ちがみられた。○できること、得意なことが増え、自信がついて、発言や態度が変わった。○1時間の学習内容を伝えることで、見通しを持ち、集中して取り組むことができるようになった。学習内容に興味を持ち、自分からその学習を広げる質問をするようになった。○交流するときに良いところを伝え合い、児童同士で学びが進むようになった。○理解できている人が中心となって、学び合う場や説明し合う場で活躍していた。○ふわふわ言葉を道徳科の時間でさらに増やすことができた。○自分の得意なことや成功した瞬間を認めてもらえる機会が多くあった。○発言を受け止めて、承認や称賛することで、できることが増えた。

このことから、各担任は日頃から子ども達に様々なアプローチをかけることで、子ども達一人ひとりが自信をもち、自己肯定感を高めることに繋がっています。

さて、先生達は、日々子どもの自己肯定感を高めながら、「子どもが主語」となる授業づくりに向け取り組みを進めています。3学期は、これまでの学習のまとめをすることはもちろん、1日1日を大切にしながら、学校全体で子ども達の学びを充実していきたいと考えています。

学校評価アンケートの結果から

12月下旬に、保護者の皆様に学校評価アンケートに回答していただきました。

半数以上の項目で肯定的な意見（4か3が80%以上）が、みられました。右記の項目では、肯定的な意見が80%未満でした。

質問項目	4	3	2	1
7 私は、読書の楽しさについて子どもと共有している。	17.1%	20.0%	45.7%	2.9%
8 私は、子どもの将来の夢について子どもと話している。	22.9%	37.1%	37.1%	2.9%
10 私は、家事の分担など、家庭における子どもの役割を決めている。	14.3%	42.9%	34.3%	8.6%
11 私は、テレビやゲームなどの時間を子どもが自分で決めるように促している。	28.6%	37.1%	31.4%	2.9%
12 私は、インターネットなどの使い方のルールについて、子どもが自分で決めるように促している。	20.0%	40.0%	34.3%	5.7%
15 学校は、子どもが未来社会を生き抜くための資質・能力を育む授業を行っている。	17.1%	60.0%	14.3%	8.6%
17 学校は、いじめなどの問題行動に毅然として対応している。	11.4%	62.9%	20.0%	5.7%
20 学校は、ICT 機器等を積極的に活用して学校改善に取り組んでいる。	22.9%	54.3%	11.4%	11.4%

◎今後の方向性○保護者として

- ・コミュニケーションの時間を意図的につくり出す。（家庭でも、学校でも）
- ・家庭内でメディアコントロールを行い、メディアから離れた時間を家族読書や家庭内の会話の時間にあてる。

◎学校改善アイデア

- ・子どもから聞いていること→機嫌や日によって叱る内容が変わる・ウザい、友達なくすなどの叱り方をする。
- ・授業中の課題を出来ない子が出来るまで、みんな休み時間なしなど先生が変わってから良いことがあまりありません。
【今回のご指摘を受け、このことを学校でも共有しながら、「子どもが主語」となる学級づくりを進めるなど、再度子ども達との接し方について、改善していきたいと考えております。】
- ・スケート交換会が急になくなってしまい残念です。スケートの刃を無料で研いであげたりスケート靴や備品を交換会で買おうと思っていました。来年度はご検討よろしくお願ひします。
【お知らせが遅くなり申し訳ございませんでした。スケート業者と打合せをして、次年度の交換会が可能か、お知らせいたします。】

- ・感染症などが流行している時は、随時知らせてほしい。現在、学校内での数人休むようなクラスがある場合など、インフルエンザが流行しているとかコロナが流行しているなどの情報が欲しい。
【安心安全メールや保健だより等で、町内や学校の傾向をお伝えしていきます。】
- ・暑い季節になる前に各教室へのエアコン設置をしてもらいたいです。
【この件に関し、PTAや学校からも教育委員会に要望を行っています。子ども達の安全に関わることとなりますので、今後も継続して要望を行っています。】
- ・アンケート項目の内訳が保護者の自己評価14、学校の評価6というのは、学校評価といえるのか。
- ・学校の教育活動が見えない部分が多いので、回答の選択肢に「わからない」を加えてほしい。
- ・児童や保護者を蔑ろにする校長先生の学校経営のあり方に疑問を感じる。
【今回のご指摘を受け、アンケート項目については再考し、より有効なものにしていきます。また、今後は学力・体力向上など「子どもが主語」となる授業の実現を目指す不断の授業改善に取り組んでいきます。】
- ・学校閉鎖、学級閉鎖時のPCの持ち帰り、リモートでも学習できる体制を早期に実現すべきです。
- ・スケート購入の家庭への負担が大きい。授業が多くないので廃止も検討してほしい。体を動かす目的であれば他にもあると思います。
【家庭の通信環境の違いへの対応や、体育の授業内容についても検討していきます。】

スケート学習

スケート学習の日は、暖かく感じる日が多く、全校で学年別や学年ブロック別で学習を進めています。靴紐結びの御協力ありがとうございます。



避難訓練

冬の火災を想定して、訓練を行いました。姿勢を低くしたり、ハンカチを使ったりとできる限りの対応ができていました。



体育エキスパート授業

町内の先生方が4年生の跳び箱の授業を参観しました。授業後は、参観した先生方で授業の工夫されていたところや、授業の良さについて話し合いました。



1年生凧揚げ

ビニールの袋を切って作った凧をひとりひとり持って外に出ました。雪上を元気いっぱい走り、風をつかんで凧をあげようと汗いっぱいでした。



冬休み自由制作展

玄関を入ってすぐの廊下に、児童が冬休みに取り組んできた作品や研究、体験のまとめを展示しました。

